

おくりもの

明星保育所へ

● 豊10枚

阿南市豊商業組合様から
ご寄贈いただきありがとうございます。
うございしました。

第25回阿南市活竹祭

日時 11月19日(土) 午前9時
～午後3時30分頃、20日(日)
午前9時～午後3時頃

場所 JAアグリあなん駐車場
内容 特産品まつり、各種体験コーナー、ステージイベント、抽選会、おもち投げ、全国丼サミット、県外6市(泉佐野市・御坊市・五條市・泉大津市・安芸市・室戸市)友情出店、県南スイーツカフェほか
問い合わせは 阿南市活竹祭実行委員会事務局(商工観光労政課内 ☎22-3290)へ

役立ててみませんか 「ふるさとづくり基金」

ふるさとづくり基金を活用し自らの手で魅力あるまちづくりを進めてみませんか。
助成対象 次の2種類があり

ます。

▼市の活性化および地域の振興につながる市民の自発的な活動(地域イベント・文化活動・スポーツ行事等)

▼海外視察研修(本市に2年以上在住し年齢が満10歳から49歳までの方で、視察研修の体験が地域づくりの実践につながると思われる方)

申請方法および交付の決定

助成を希望される方は、定住促進課備え付けの申請書に必要事項を記入のうえ、12月22日(休)までに提出してください。助成の選考と金額など詳細は基金運営委員会の審議を経て決定します。

問い合わせは 定住促進課
(☎22-7404)へ

有害鳥獣捕獲の

ご理解ご協力について

本市では、農作物の有害鳥獣被害防止のため、銃器や檻等による有害鳥獣捕獲作業を実施しています。市民の皆さまの安全確保を第一に作業を実施していますので、ご理解ご協力をよろしくお願いします。

捕獲区域 阿南市全域

問い合わせは 農林水産課
(☎22-1598)へ

市長通信

お元気ですか



阿南市長
岩浅嘉仁

700号、58年間、

市民の皆さまと行政の架け橋

市民の皆さまには、毎月「広報あなん」をご覧いただきありがとうございます。2人の職員が、さまざまな市の動きを心を込めて編集しています。そして、できるだけ多くの皆さまが掲載されるよう知恵を絞っています。「広報あなん」の腕章をつけた職員と接する機会がありましたら、ぜひ取材に協力していただければありがたいです。58年間の阿南市の歩みは、一つひとつの事象が貴重であり、市民のかけがえのない宝だと思えます。今回を一つの区切りとし、新たな宝物を積み上げていくスタートがきられます。

昭和33(1958)年5月1日、県下4番目の市として阿南市が誕生しました。世相は大衆文化が大きく花を開き、当時の皇太子明仁殿下と正田美智子さんとの婚約が発表され、これから確実に世の中は良くなるという夢が始まった年でした。

この年の6月、「広報あなん」の初版が、市民の手に届きます。初代市長の沢田 紋氏は、市政の抱負と題し、「行政の執行は住民の協力なくしては円滑に行かないので、市が行わんとするところを広報活動等により住民に周知徹底する方策に十分考慮を払い市民との接触の緊密化を図りたい」と表明されておられます。

以降、財政再建団体のまま誕生した本市では、毎号、財政状況を掲載し、今後は橘湾一帯に臨海工業都市を建設することを起死回生策として、赤字財政からの脱却をめざすこととなりました。

まず、昭和34(1959)年8月に神崎製紙(現在の王子製紙富岡工場)が操業開始。その後、国は高度経済成長の象徴として、昭和37(1962)年、新産業都市計画を立案し、全国を対象に選考作業に着手しました。その年の11月16日には、河野一郎建設大臣が市民の熱狂的歓迎の中、橘湾を視察。翌年1月10日には、篠田弘作自治大臣が歓迎煙火に迎えられ橘湾に到着しました。

篠田弘作大臣は、朝日新聞記者を経て、北海道から代議士に当選。直情径行で武勇伝の多い政治家として勇名をはせていた実力者でした。熱心な視察の後、「通常国会をひかえて忙しい時に、新産業都市指定候補地を現地視察するのは徳島県だけだ。それだけ本県を重視しており、僕だけが決めるなら文句なしに本県を指定したい!!」と力強い言葉を残し帰県した。そして、同年7月12日の閣議で、阿南市が新産業都市に指定されたのでした。先人の熱意と努力が今日を生きる我々につながっています。

人間の縁は不思議なものです。阿南市がお世話になった故篠田弘作大臣の令孫、篠田耕太郎氏は、現在、王子製紙富岡工場工場長代理として、阿南市民の一人として働いておられます。これからも本市は、毎号が待ち遠しいと思ってもらえ、縁が広がる広報を発行することに努力を続けてまいります。